

2019年4月～6月  
こどもアート教室【幼児クラス】 日程表

※毎週月・金曜日 16:00～17:00

# 4 April

## < 4月のテーマ >

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18★	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

- ⇒ 第1週：何に見えるかな？
- ⇒ 第2週：サクラの壁面飾り  
＜好きなものを持ち合わせて詰め込むアート＞
- ⇒ 第3週：イースター工作  
＜～たまごに色つけをしてみよう～＞
- ⇒ 第4週：母の日プレゼント制作①  
＜～デカルコマニーをしてみよう～＞



★ ※体験教室の開催日となります。

# 5 May

## < 5月のテーマ >

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- ⇒ 第1週：母の日プレゼント制作②  
＜～デカルコマニーで花束作り～＞
- ⇒ 第2週：マーブリング①  
＜～マーブリングをしてみよう～＞
- ⇒ 第3週：マーブリング②  
＜～マーブリングで夢の世界を表現しよう～＞
- ⇒ 第4週：点と線だけで違いを見つけよう  
＜～表現力を広げる～＞



※4/29～5/6はGW期間中の為、休講です。

# 6 June

## < 6月のテーマ >

月	火	水	木	金	土	日
					★1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

- ⇒ 第1週：父の日プレゼント制作①  
＜～粘土でメダルを形作ろう～＞
- ⇒ 第2週：父の日プレゼント制作②  
＜～メダルを金色にぬろう～＞
- ⇒ 第3週：作品カタログ作り  
＜～違いの認識～＞
- ⇒ 第4週：プラバンアート  
＜～キーホルダー作り～＞



※スケジュールは、やむ得ず変更となる場合がございます、その際は事前にご連絡致します。

お問い合わせは【カリカチュア教育事務局】 TEL:03-3845-1445 (平日 10:00~18:00) Email: school@ml.caricature-japan.com

# お子さまに学んでいただけること

## 4 April

第1週：何に見えるかな？

様々な形や大きさの糸糸を使う糸糸を描きながら、想像力と発想力を養います。

第2週：サクラの壁面飾り <好きなものを持ち合わせて詰め込むアート>

作品は「1つと糸冬わり」ではもったいない！  
「1つと食布」こと自分の1つと向き合うこともできます。

第3週：イースター工作 <～たまごに色づけをしてみよう～>

日本ではまだあまり馬川染みが少ないイースター祭。  
異文化を学びながら楽しく工作をしましょう。

第4週：母の日プレゼント制作① <～デカルコマニーをしてみよう～>

モダンアートのテクニックの一つです。  
転写方式で色んな糸糸を混ぜ合わせることで、色彩感覚を養います。

## 5 May

第1週：母の日プレゼント制作② <～デカルコマニーで花束作り～>

デカルコマニーで仕上げた作品を糸糸に、プレゼントを作ります。  
「誰かのために作る」糸糸馬食で人を思いやる気持ちを育みます。

第2週：マーブリング① <～マーブリングをしてみよう～>

モダンアートテクニックの一つです。  
インクを水面に垂らして出来た模様を糸糸に写し取り、色彩の多様性を学びます。

第3週：マーブリング② <～マーブリングで夢の世界を表現しよう～>

糸糸に写し取られたマーブリング模様を使う夢の世界を表現します。  
想像力を膨らませることが目的です。

第4週：点と線だけで違いを見つけよう <～表現力を広げる～>

一本の筆で様々な点と糸糸を描きます。  
お友だちの作品と見比べることで他人との違いを認識します。

## 6 June

第1週：父の日プレゼント制作① <～粘土でメダルを形作ろう～>

粘土造形で立体物を使った表現力を養います。

第2週：父の日プレゼント制作② <～メダルを金色にぬろう～>

乾いた粘土を金色で塗り、仕上げにリボンを付けます。  
お世話になっている人に感謝の気持ちを表す習慣を学びます。

第3週：作品カタログ作り <～違いの認識～>

「点と糸糸だけで違いを見つけよう」の回でできた作品をカタログにまとめます。  
違いの認識の応用である「違いの整理」を糸糸馬食します。

第4週：プラバンアート <～キーホルダー作り～>

プラバンでオリジナルキーホルダーを作ります。  
自分の身に着けられる作品を作ること、作品に込める思いを育みます。